

は農業者からの急な要請にこたえることが困難であったことから、農業者とサポーター間の調整を行う「みりの会」がサポーターの有志によって結成され、当日派遣可能なサポーターを手配するなど、農業者からの要請にいち早く対応可能な仕組みが構築されました。

平成30年3月現在の登録者数は、農業者数156名、サポーター数124名であり、今後の課題として①登録農家の拡大②農業サポーターの保険加入（現在は個人加入）が挙げられておりました。

当町においても、農業者の高齢化、また、担い手不足は今後の課題であることから、議会では今後調査・研究を進め町に提言してまいります。



養成講座(実習)の様子



現地において開催中の農業サポーター養成講座（実習）を視察してまいりました

道の駅さかい六次産業施設 オープンニングセレモニー

10月29日に、道の駅さかい内において『さかいサンド』のオープンニングセレモニーが盛大に開催されました。

これは「境町のおいしい物をまらごとサンド」をコンセプトに新たな六次産業施設として期待されております。

セレモニー終了後には、開店を待ちわびていた住民の方々で大変な賑わいとなっております。



総務建設農政常任委員会 所管事務調査報告

当委員会では、11月5日・6日に北海道上川郡東川町において、移住・定住促進施策等について研修してまいりました。

東川町は、北海道のほぼ中央に位置し、人口約8,300人、面積は247.3平方キロメートルと広く、敷地の約70パーセントが森林で形成されております。その森林の一部は大雪山国立公園となっており、北海道最高峰の「旭岳」を有する優れた自然環境と観光資源に恵まれた町であります。

東川町では昭和25年当時1万人以上であった人口が平成5年には7千人以下となってしまったことから、移住・定住施策に力を入れております。主な施策としては、景観住宅建築支援事業や、起業化支援事業などが挙げられ、町内にある新興住宅地グリーンヴィレッジは、美しい街並みを実現するための「東川風住宅設計指針」に基づいた「東川スタイル」で統一されております。